

波紋

1986

12

三十周年記念家族忘年会

今年も家族忘年会が、華寿殿で行われました。山口係長の名司会で始まり、大変楽しく過ごす事が出来ました。これも安井君始め、若い人達のゲーム企画がなかなか面白く、ご苦労様でした。特に、夫婦ゲームが好評でした。例年森松は、家族の方達と一緒に忘年会を行っていますが、今年には特に、新しい方達が目立ち段々若くなってきています。こういう若い人達と、又御家族の協力のもとに、ますます厳しくなるであろう来年も、乗りきっていきたいと思えました。

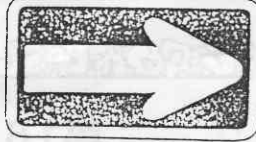


六文 差 占

「ホウ・レン・ソウ・ソウ」

今、ホウレンソウが静かなブームを呼んでいる。森松社内でもいつとも言われている。わかってはいる事、普通の事なだけけれど、継続実行する事が大変な事です。他社をみても、報告・連絡・相談がうまくいっている会社は業績が良い。この三点が、組織運営にとって最も重要な要素となっているのは疑う余地はない。しかし部下に言わせれば、「報告しても無視する」「連絡してもなしのつぶて」「相談してもうわの空」と思う人も出てくる。私も十分この事に気を付けます。今月から四月一杯「森松」は、年間で一番忙しい時期に入ります。皆さんも、ホウレン草をもりもり食べて、頑張って最盛期を乗り越えよう！

森 信之



師走です。字のごとく師匠も走る位忙しいという月です。一年間を締括る、という意味もありますので忘年会とか会合も多い月です。新しい年を迎える、という月でもありますから来年への課題の準備月です。

森松は、今、荷動きが若干良くなってきたので、バタバタしていて朝早くから夜遅くまで、皆さんが一生懸命やっていただけのことには、有難いことだと思っております。

しかし、来年も相当厳しい年であることは、誰もが感じているはず。となれば、限られた人数でいかに効率良く動くかが問題です。そこるところにポイントを置くということになれば、在庫管理、荷動き、配送が大変重要になってきます。入荷した荷物をどうすれば良いか分からない。もう少し早く云ってくれば一緒に持つていってもらえたのにか、配送の手をわづらわさなくとも、営業の人がそれ位の荷物ならそっちの方向へ行きますから僕が持つていきます、という様な思いやりとか。。

いづれにしても十二月は来年の新しい年を効率良く働ける様な準備月にしたいと思えます。それには、基本的には相手への思いやり。どうすれば短時間で早く効率的に仕事を終わらせることができるかの、思いやりと気配りで事にあたれば、利益がアップすると思えます。

せっかく新社屋を建てても今のままでは建てる意味がありません。

木村英利

英英会話教室で
学んだ事

Mr. サーベ (真正正銘の外国人・紳士) のもとで、半年間学んだ第三期「英会話教室」も、十一月末で卒業しました。

「外人の先生」という事で、戸惑いもありましたが、日本人である僕達が考えさせられる様な日本語(くうがい)↓公害の様に()で大笑いした事もありました。

今後、企業にとって必ず英語が必要となってくるでしょう。日本人は完璧主義的な点があるようですが、片言の日本語英語を恥ずかしがらずに話す事、これが英会話の秘訣だそうです。

サーベ先生どうも有り難うございました。皆さんも一度、御試し下さい。

伊東郁二



マコの
ものしり
コーナー

ハムとソーセージ

ハムは肉そのものだが、ソーセージは肉のすり身が原料。まずその製法に大きな違いがあります。

ハムは豚肉を、硝石を混ぜた塩につけ、燻煙、煮沸、冷却して保存性と風味を増したものだ。ソーセージは、豚をはじめ牛、羊などの畜肉をミックスし、挽肉にして練って、牛や豚などの腸に詰め、燻煙、煮沸、冷却して保存性をもたせたもので、腸詰めともいいます。

ハムもソーセージも中国が発祥の地といわれていますが、いまはヨーロッパが中心といえます。特に、スイスの生ハムやドイツのフランクフルトソーセージは有名です。

ハムの種類には、豚のもも肉を使った骨つきハム、骨をとったボンレスハム、ロースを使ったロースハム、肩肉のシルダーハムなどがあります。よく見かけるプレスハムは、日本に特殊なハムで、豚肉以外に、羊、馬などをミックスして成形してつくり、JASではハムでなくソーセージの仲間に入れている。

最近のハムは、塩気の強いものが好まれなくなったり、長い時間がかかる燻煙加工がなされていけないものが多く、日持ちが悪くなっています。保存食としてより、肉の風味を増すために加工されるようです。

一方のソーセージは、原料の肉、スパイスの種類や割合、形などで名前が違ってきます。フランクフルトソーセージやボロニヤソーセージはほぼ同じ系統のもので、豚肉にはかの畜肉を混ぜてつくります。サラミソーセージは赤ワインが使われており、魚肉ソーセージは名前のとおり、畜肉のかわりにスケトウダラなど魚の肉が原料です。一般にソーセージのほうが脂肪が多く含まれています。

丸喜化学工業株式会社

大阪営業所所長 柴田正男

森松社内報「波紋」を、創刊号より愛読させて頂き、回を重ねる毎に森松カラーがじわじわと紙面に染み出て来ており、今では毎月送られて来る日を楽しみに待っております。

特に印象に残っているコーナーは、「交差点」と、トシ君の「Uターン禁止コーナー」で、「交差点」に於いてはオーナーの毅然とした経営方針を唄っており、又「禁止コーナー」では、苦しみながらも、ユーモアと爆笑を交え、愛情を持って社員を引張って行く姿がよく出ております。又他の社員コーナーに於いても森松両巨頭の意思を良く理解し、新人類時代と言われる、現代の考え方、アイデア等を盛り込んだ文章はとてすばらしいと思います。

これぞ森松精神を発揮したチームワークの良さの一言に尽きると言えましょう。

丸喜化学工業は昭和二十九年四月創立し、代表取締役社長鈴木治房は皆様も良くご存じかと思えますが、塩ビ業界では通称「ワニ」さんで良く知られておりますが、最近では「ワニ」から「毛ガニ」さんで知名度を上げております。

当丸喜化学工業は塩化ビニールの加工製品を作る原反製造メーカーであり、時代の流れと共に新素材の開発等、余儀なくされ文具、雑貨関係は元より三年程前から再度、袋物・カバン・履物関係の分野に進出し本格的に、素材・商品の企画・開発研究に取り組み、それなりの成果も出て来ております。特に昨今の日本市場に於いては対米・対欧・東南アジアからの日本の貿易黒字減らしの突き上げが著しく、色々な分野での輸入促進を攻められ、食料品及び衣料品は元より最近では、袋物履物関係に迄、台湾・韓国・中国よりの原反及び製品等の輸入が増え続け、塩ビ業界にも相当数の浸透がなされて来ており、我々メーカーも大変苦しい立場に立たされて来ておりますが、それに対応すべく丸喜化学工業は独自に「手作り」の味を出した創作的な物作りに心掛け、袋物・文具・雑貨関係に至る迄、高級嗜好品を対象にした大人のムードを持ったシンブルでエレガントな素材・都会的なナチュラルタイプのエスニック素材・華やかでデコラティブな表面効果を持つファンシータイプの素材・アンティークでレトロ感覚を持ったクラシックな素材・ヤングからミセス迄を対象とした、遊び心を持ったカジュアル的な素材等、いろいろ幅広く活用出来る素材開発に力をそそいでおります。

又最近では、ファッショングッズ時代と呼ばれ、アクセサリーからカバン・袋物・靴・小物類に至る迄コーディネートされ、若い人達の間ではコーディネートテクニクが進展しており、特にメンズファッションと呼ばれる時代に入り、男性がアクセサリーを付け、化粧をする時世であります。こうした時代の波に押し流されない様に、丸喜化学工業も前に述べた様にいろいろ素材開発に心掛け常に前向きな姿勢をくさず頑張っておりますので、いつでも御利用下さい。

扱、丸喜化学工業と、森松様のお付き合いは、森松様のお先代社長森松様の時代より、長いお付き合いをさせて頂いておりますが、丸喜化学工業が森松様に対しての貢献を問われますと、殆ど皆無に等しかったのではと思えます。

しかしながら数年前より、森社長、木村部長、外各営業担当者の御協力を得て、細いパイプを太いパイプに継いで頂き、水の流れるも多くなって頂く事が出来ました。森松様担当者である私の勉強不足のため、今だに水が一杯流れておりません。これを機に私もいろいろな方面より再度勉強のし直しをして、森松様に100%と迄行かないにしても90%位迄貢献出来る様に努力致したいと思っておりますので、尚一層の御指導を下さいます様御願致します。



最後に森松様担当者としての所感を一言述べさせて頂きます。森松様は他の原反問屋にないいろいろな機械設備を持っております。(ウエルダー・縫製ミシン・スリッター・裁断機等) お客様の要望に答える為には、常にいろいろな原反サンプルを保管しておく事と引き合いがあった時点で於いてはいち早く、製品にて見本を提出して行く事又いろいろな製品資料の保管を必ず取っておく事、さらに原反を各メーカーに発注し、出来上った生地をキーサンプルの保管に務めておく事、さらに商売が早く出来るかと思えます。

今月の社内行事

六日 営業・事務・合同連絡会議
午前八時十五分より

十二日 野球部納会
「手羽先の夜明」にて

十三日 第二土曜日休業

十三日～十四日 初滑り

八方スキー場

二十日 森松産業御忘年会
「亀屋」にて

二七日 大掃除

二七日 森松若手忘年会
「手羽先の夜明」にて

二十八日～一月四日休業



お誕生日ご紹介

十二月生まれの人

社内 富田美千代

昭和三十九年十二月二五日

家族 山口美知子

昭和三十九年十二月十九日

山口真和

昭和五十七年十二月二日

くらしのアイディア

ワソボイソア

子供と一緒に作れる簡単なおやつです。
ホットケーキのたねを、たこ焼き用鉄板に流し込み、中にはチーズの角切りをハチミツで和えたものや、あんこ、チョコレイトなどで工夫してみてください。

クイズコーナー

ヒントの字数に合わせて、六つのことばの推理です。

c Q	b 半	a 半
f way	e 10000-1	d 戸

(ヒント)
a = ○○○○○○
b = ○○○○○○
c = ○○○○○○
d = ○○○○○○
e = ○○○○
f = ○○○○

正解の方には豪華プレゼントを進呈致します。



編輯佳未依記

冬本番！風邪など引きやすい季節です。コタツの中で縮こまっていけないで身体を動かすよう心掛けましょう。
冬のスポーツと言いますとやはり、何と云っても「スキー」ですね。まだの方は今年チャレンジしてみたいかがでしょうか？
今月号の一面には「三十周年記念家族パーティー」の記事で紹介の様に全体的に成功に終わったことが伺われることとおもいます。
又、一年の締めくくりの月ですので振り返ってみてやり残しの無い様仕事納めをし、忘年会・クリスマス・大掃除とあわただしくなりそうです。お酒を飲む機会が増えてきますので飲み過ぎないよう注意しましょう。
「波紋」は不滅です。寒さにも負けず中身の濃い記事を目標に頑張ってくださいますので、よろしくお願い致します。
永井しるゑ

編集発行者
森松株式会社
発行責任者
橋本正子
昭和61年12月1日
第 18号